

令和5年度

京都工芸繊維大学大学院 工芸科学研究科博士前期課程（修士課程）デザイン学専攻 一般入試  
入学者選抜学力検査問題

# 専門科目（特定課題型）

（150分）

## 【注意事項】

1. 監督者の指示があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. この問題冊子は2枚からなっています。また、解答用紙は問題文中に指示されている解答用紙を使いなさい。この冊子、解答用紙、下書用紙を確認し、落丁・乱丁および印刷の不鮮明な箇所などがあれば、手をあげて監督者に知らせなさい。
3. 使用するすべての解答用紙に受験番号を記入しなさい。
4. 試験後に、問題用紙、解答用紙、下書用紙など配布物は回収します。

## 問題

あなたのお祖父さん、お祖母さん、あるいは知り合いの高齢者が、最近、出かけ先から自宅への帰り方が、たまにわからないということが起こるようになったと想定してください。

では、どのようにサポートすれば良いでしょう。

想定した「問題状況」、その状況を改善・解決するための「デザインコンセプト」を、B4 解答用紙に記述しなさい。

その「デザインコンセプト」に基づく、モノやコト（コミュニケーションツール、空間、プロダクト、サービスなど）を構想し、B3 解答用紙に「デザイン案」を描きなさい。

解答は、以下の〈条件〉に従い行うこと。

### 〈条件〉

1. B3 解答用紙には、下書き用紙（A3）に作成した文章、スケッチ、図面、図解などを貼り込んでもよい。
2. B3 解答用紙は、縦、横どちらで使用してもよい。
3. B3 解答用紙は、受験番号が印刷されている方を裏面として使用しなさい。
4. 以下の貸与画材は、必ずしも全て使用する必要はない。

### 貸与画材

- ・サインペン黒（中太）
- ・サインペン黒（細）
- ・色鉛筆
- ・小型鉛筆削り
- ・スティックのり
- ・ハサミ

(以上)

令和5年度

京都工芸繊維大学大学院 工芸科学研究科博士前期課程（修士課程）デザイン学専攻 一般入試  
入学者選抜学力検査問題

# 専門科目（論文型）

（150分）

## 〔注意事項〕

1. 監督者の指示があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 次頁以降の選択問題1～4の中から1つの問題を選択し、解答しなさい。
3. 各選択問題の配点は同じです。
4. この問題冊子は2枚からなっています。また、解答用紙は4枚（けい線入り2枚、けい線なし2枚）、下書用紙は1枚あります。監督者から解答開始の合図があったら、この冊子、解答用紙、下書用紙を確認し、落丁・乱丁および印刷の不鮮明な箇所などがあれば、手をあげて監督者に知らせなさい。
5. けい線入り解答用紙と、けい線なしの解答用紙のどちらを使ってもかまいません。使用する解答用紙に受験番号を記入しなさい。
6. 選択した問題番号を、解答用紙解答欄上部左側に記入してから解答しなさい。
7. 試験後に、問題用紙、解答用紙、下書用紙など配布物は回収します。

### 選択問題 1 (デザイン分野)

以下の問いに答えなさい。記述に際して、図や表などを併用しても構わない。

昨今、「デザイン」の世界では領域横断化が進み、従来型の固定した分野を越えて課題解決に取り組むことが増えている。それに伴って、デザイナーに求められる能力も従来とは異なっていることが想像される。

- 問 1. 従来から必要とされる能力を 5 つ考え、なぜ「デザイン」にそれらの能力が必要と考えるのかをそれぞれについて述べなさい。
- 問 2. 従来とは異なると考える能力を 2 つあげ、具体的にどのような能力か説明しなさい。
- 問 3. 問 2 であげた能力がどのように作用するのか、領域横断の事例を示しながらそれぞれ説明しなさい。

### 選択問題 2 (ビジネス分野)

以下の問いに答えなさい。

- 問 1. ISO (国際標準化機構) などが定める国際標準が企業経営に与える影響について、具体例を上げて述べなさい。

### 選択問題 3 (キュレーション分野)

以下の問いに答えなさい。

- 問 1. 公共空間に設置されるアート作品 (パブリック・アート) の保護のあり方について、具体例を挙げながら、作品設置の是非を含めてあなたの意見を述べなさい。

### 選択問題 4 (テクノロジー分野)

以下の問いに答えなさい。

- 問 1. 科学技術は日々進化し、それにより、人々の生活は変化している。安全性、利便性、快適性など様々考慮し、技術開発は行われている。しかし多くの場合、その技術には、正の側面と負の側面の両面があり、それを無視することはできない。それは、技術そのものにある場合もあれば、その技術の使い方にもある。  
あなたの知っている技術の中から一つ挙げ、その技術の正の側面と負の側面が何かを述べ、その上で、その技術に対する功罪をあなたの倫理面を含めて論じなさい。

(以上)